

一般

段級

廿余丁山を登って滝有岩洞の頂より飛流  
にじゅうよ ちよう あり がん どう いただき ひりゅう  
 して百尺千岩の琥珀潭に落つ。岩窟に身  
ぼく せん がん へき たん お がん くつ 身  
 をひそめ入て、滝の裏より見れば  
いり たき うら 見れば  
【奥の細道】

二十丁ちよつと山を登ると滝がある。窪んだ岩の頂上から水が飛びはねて、百尺もあろうかという高さを落ちて、沢山の岩が重なった真つ青な滝つぼの中へ落ち込んでいく。岩のくぼみに身をひそめると、ちよつと滝の裏から見ることになる。

